

# 令和4年度広島県観光統計調査等業務委託仕様書

## 1 事業の目的

観光振興施策の効果検証や戦略立案に活かすためのデータ収集やモニタリングを行うとともに、一般社団法人広島県観光連盟（以下、HIT とする）の総合戦略を踏まえたうえで、複数のデータを組み合わせた専門的な分析を行う。

### （1）日本人・外国人観光地点パラメータ調査

観光庁が平成 22 年度から実施している観光入込客統計調査に関し、基礎データとなる観光入込客の属性別の構成比、平均訪問地点数、観光消費額単価等について観光地点パラメータ調査を通じて把握するとともに、本県を訪れる日本人観光客及び外国人観光客の動向を分析する。

### （2）県民向け観光振興に関する住民満足度及び県外客向け再来訪意向度等調査

インターネットを用い、県内在住者の本県の観光振興に対する効果認知及び施策満足度、ならびに県外在住者の観光マインド及び本県への再来訪意向度等を調査する。

## 2 委託期間

契約締結の日から令和5年3月31日まで

## 3 委託業務の概要

### （1）日本人・外国人観光地点パラメータ調査

別に定める調査票を用いた対面聞き取り調査を、日本人観光客については県内観光地 22 か所、外国人観光客については県内観光地 3 か所において実施すること。

### （2）県民向け観光振興に関する住民満足度調査

指定する条件に基づき、本県在住者を対象とし、インターネットを用いたアンケート調査を実施すること。

### （3）観光客向け再来訪意向度等調査

指定する条件に基づき、直近1年以内に本県を訪れた県外観光客を対象とし、インターネットを用いたアンケート調査を実施すること。

### （4）集計及び推計・分析

#### ア 統計量の推計

日本人・外国人観光地点パラメータ調査の結果及び HIT が提供する推計支援ツールを用いて、四半期ごとに統計量（観光入込客数・観光消費額単価・観光消費額等）を推計すること。

#### イ 調査項目の集計・データ分析

観光地点パラメータ調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の各設問に対して属性等とのクロス集計を行い、集計結果をもとに分析の上、調査報告書に取りまとめること。ただし、HIT が行う各調査から得られるデータを最大限活用し、総合的に分析・報告を行うこと。

## 4 業務内容

### （1）日本人・外国人観光地点パラメータ調査

#### ア 調査票等の作成・印刷

(ア) 調査票の設計・印刷

- ・HIT が提供する調査票案について、旅行者のニーズ及び満足度等を的確に把握し、過去の調査分とあわせて推移等の分析が可能となるよう、調査項目や質問方法等を提案・調整すること。
- ・外国人観光地点パラメータ調査の調査票は外国語版を作成することとし、HIT が提供する調査票に問題がないか確認、調整を行うこと。  
※外国語版は、英語、フランス語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、タイ語とし、ネイティブチェックを行うこと。
- ・調査票は必要部数を印刷すること。

(イ) 日本人観光地点パラメータ調査 調査項目

- ・表面 観光庁指定（基本属性情報を含め9問程度。変更の可能性あり）
- ・裏面 県独自の設問4問程度 ※協議の上、調整すること。

例

設問		項目詳細・選択肢等
旅行の際に重視する点 ※選択式 ※当てはまるものすべて選択、そのうち最も当てはまるものを1つ選択		過年度に HIT が実施した調査の調査票を参照のうえ、協議の上で選択肢を作成すること。
旅行の情報源 ※選択式		① 旅行前に参考にするもの ② 今回の旅行前に最も参考にしたもの ③ 今回の旅行中に触れた情報源 [選択肢：家族・友人の話（口頭）、パンフレット、市販のガイドブック、旅行サイト、観光アプリ、新聞・雑誌、テレビ・ラジオ、旅行会社の店頭、旅行会社のHP、Twitter、Facebook、Instagram、LINE、その他 SNS、YouTube、TikTok、その他動画サイト、観光案内所、観光ガイド、その他]
県全体の評価等 ※11 段階評価（0～10）		① 今回の本県への旅行の満足度 ② 再訪意向（県外客のみ対象） ③ 今回の本県での観光をストレスなく楽しめたか ④ 本県への観光の推奨度 ⑤ 今いる観光地の推奨度
満足度 ※6 段階評価（0～5）	各観光地点	① 交通・移動について（道路標識や案内板、道路やアクセス、駐車場等） ② 情報取得について（情報発信、情報入手、観光案内所等） ③ 食事について（品揃え、営業時間等） ④ 買物・土産について（品揃え、営業時間等） ⑤ 環境について（通信環境、ロッカー、トイレ、感染症対策、多言語対応等） ⑥ 地元の人との交流について（観光ボランティア、地元の人との交流等）

(ウ) 外国人観光地点パラメータ調査 調査項目

- ・表面 観光庁指定（基本属性情報含め9問程度。変更の可能性あり）
- ・裏面 県独自の設問5問程度 ※協議の上、調整すること。

例

設問		項目詳細・選択肢等
入出国場所 ※記入式		① 日本入国空港／港 ② 日本出国空港／港
旅行の際に重視する点 ※選択式 ※当てはまるものすべて 選択，そのうち最も当てはまるものを1つ選択		過年度に HIT が実施した調査の調査票を参照のうえ，協議の上で選択肢を作成すること。
旅行の情報源 ※選択式		① 旅行前に参考にするもの ② 今回の旅行前に最も参考にしたもの ③ 今回の旅行中に触れた情報源 選択肢：家族・友人の話（口頭），パンフレット，市販のガイドブック，旅行サイト，観光アプリ，新聞・雑誌，テレビ・ラジオ，旅行会社の店頭，旅行会社の HP，Twitter，Facebook，Instagram，LINE，その他 SNS，YouTube，TikTok，その他動画サイト，観光案内所，観光ガイド，その他
県全体の評価等 ※選択式 ※11段階評価（0～10）		① 今回の本県への旅行への満足度 ② 再訪意向（県外客のみ対象） ③ 今回の本県での観光をストレスなく楽しめたか ④ 本県への観光の推奨度 ⑤ 今いる観光地の推奨度
満足度 ※6段階評価（0～5）	観光地点	① 交通・移動について（道路標識や案内板，道路やアクセス，駐車場等） ② 情報取得について（情報発信，情報入手，観光案内所等） ③ 食事について（品揃え，営業時間等） ④ 買物・土産について（品揃え，営業時間等） ⑤ 環境について（通信環境，ロッカー，トイレ，感染症対策，多言語対応等） ⑥ 地元の人との交流について（観光ボランティア，地元の人との交流等）

(エ) 観光地点リストの作成

県内の観光地点名を本県の地図に落としこんだ観光地点リストを作成すること。（アンケート調査時に，観光客の訪問地点数把握のため，そのリストの中から訪問した調査地点を回答者に選んでもらう際に使用するもの）

(オ) 協力依頼文の作成

日本語版のほか，必要に応じて外国語版を作成すること。

(カ) 腕章，名札等の作成

本調査の実施時に，施設側や観光客等に対し，調査員の身分及び調査を実施している旨が明示できるものを作成すること。

イ 調査日の決定，実施内容の通知及び打合せ

原則として，対象とする各四半期（4～6月，7～9月，10～12月，1～3月）に含まれる土・日・祝日から調査日を決定の上，施設との交渉及び実施調整の後，四半期ごとに調査計画表を作成し，事前に HIT へ報告すること。なお，施設への調査実施許可申請には日数（1～2週間程度）を要する場合があるため，留意すること。

調査の実施にあたっては，必ず事前に施設管理者等との打合せを行うとともに，当日も

実施前後に施設管理者等への確認及び報告を行い、円滑な調査に努めること。

#### ウ 調査員の確保等

##### (ア) 調査員の指導、監督

調査員マニュアルを作成し、円滑な調査となるよう指導・監督を行うこと。

##### (イ) 調査員の配置

調査員は、調査地点ごとに3名以上を確保すること。監督員も1名配置することが望ましいが、難しい場合は、不測の事態に備えて監督員と常時連絡の取れる体制にしておき、受託事業者の責任において対処すること（外国人調査においては、英語の話せる調査員を3名配置すること）。

#### エ 調査の実施

##### (ア) 調査地点（全22か所 ※地点は変更の可能性がある）

・日本人観光地点パラメータ調査

【観光入込客統計調査対象地点（22か所）】

地点名	市町名	地点名	市町名
広島平和記念資料館	広島市	神楽門前湯治村	安芸高田市
広島城	広島市	鞆の浦	福山市
縮景園	広島市	福山城公園	福山市
広島市安佐動物公園	広島市	千光寺山ロープウェー	尾道市
大和ミュージアム	呉市	平山郁夫美術館	尾道市
休暇村大久野島	竹原市	道の駅びんご府中	府中市
酒蔵通り	東広島市	上下町商店街（泊まれる町屋 上下天領）	府中市
厳島神社（栈橋前広場）	廿日市市	せら夢公園（世羅ワイナリー）	世羅町
豊国神社（千畳閣）	廿日市市	広島三次ワイナリー	三次市
海上自衛隊第1術科学校	江田島市	湯本豪一記念日本妖怪博物館	三次市
道の駅豊平どんぐり村	北広島町	国営備北丘陵公園	庄原市

・外国人観光地点パラメータ調査（3か所）

広島平和記念資料館	広島市	尾道エリア（レンタサイクルターミナル尾道港等）	尾道市
厳島神社	廿日市市		

##### (イ) 調査時間

原則10時から17時とするが、施設等の営業時間帯を考慮して決定すること。

##### (ウ) 調査数

四半期の調査ごとに、1か所あたり必ず100票以上を回収すること。

##### (エ) 調査内容

（1）アで印刷した調査票に、調査員が対面調査により聞き取った内容を記入することとし、データクリーニング事項に留意の上、無効な調査票が生じるのを極力排除すること。また、質問項目については、無回答の項目がないよう留意すること。

##### (オ) 謝礼品

調査協力を得られた観光客には、回答終了時、謝礼品を渡すこと。謝礼品はおおむね単価100円程度のものとする。

オ 調査状況の HIT への報告

各地点における調査実施後、速やかに当該日の実施状況及び獲得票数について HIT に報告を行うこと。

カ 観光地点パラメータ調査調査票データの推計支援ツールへの入力及び集計表の作成

ウの調査票データ（観光入込客統計調査対象地点のみ対象）を「観光地点パラメータ調査結果 入力項目」に基づき、推計支援ツール内の調査票結果入力用シートへ入力するとともに、集計表（調査項目ごとに、回答数、居住地、各回答の数値等をまとめたもの）を作成すること。

キ 統計量の推計作業

HIT が提供する市町の観光地点ごとの入込客数の電子データ及び観光庁が提供する宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査などのデータを推計支援ツールに入力することにより、次のデータを推計すること。

- ・観光入込客数及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）
- ・観光入込客 1 人当たりの属性別平均消費額
- ・観光入込客の総消費額及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）

※観光庁からのデータ提供は各四半期末日から約 4 か月後となる見込み

（2）県民向け観光振興に関する住民満足度調査

ア 調査対象の設定

調査方法はインターネット調査とし、調査に最適な母集団（パネル）を複数候補の中から選定の上、その理由と共に HIT に提案すること。HIT と協議の上、選定した母集団の特性及び本県人口移動統計調査（第 5 表-1 及び第 6 表）を参考にして割付等を行い、本県在住者の性別及び年代、居住地（市区町）が自然分布に近い形となるよう、設計すること。

イ 調査項目及び画面の設計

（ア）調査項目の設計

以下の「設問及び項目詳細・選択肢等」を参考に、日本人・外国人観光地点パラメータ調査と関連付け、総合的に分析できるよう調査項目を調整すること。

設問	項目詳細・選択肢等
性別及び年齢	モニター情報より取得すること。
居住地	モニター情報より取得し、不能な場合は郵便番号を記入させること。
観光関連従事の有無 ※選択式	観光関連の仕事・学業に携わっているかどうかを調査すること。 選択肢：①はい ②いいえ
施策認知度 ※ 4 段階（知らない～知っている）	令和 3 年度の施策について説明した上で、それらの認知度を調査すること。
観光客との接点の有無 ※ 4 段階（ない～ある）	居住地域で観光客（日本人観光客及び外国人観光客）を見かけることがあるかどうかを調査すること。
生活環境への影響 ※選択式 ※当てはまるものす	観光振興により影響があると感じていることを調査すること。 選択肢： ① インフラ（道路、案内表示、トイレ等）が整備される

べて選択，そのうち 最も当てはまるもの を1つ選択	② 文化や自然が保存・受け継がれる ③ 地域の経済，雇用，産業が促進される ④ 人や文化の交流の機会が増える ⑤ 知名度の向上や誇りにつながる ⑥ 観光・体験スポットが増える ⑦ 道が渋滞したり，電車・バスが混雑したりする ⑧ 街並みや景観が損なわれる ⑨ 自然や文化に悪影響が出る ⑩ マナーや治安が悪化する ⑪ 感染症の拡大につながる可能性があり，不安だ ⑫ その他
施策満足度 ※11段階（0～10）	
施策要望 ※選択式 ※当てはまるものす べて選択，そのうち 最も当てはまるもの を1つ選択	選択肢： ① 国内や海外における知名度向上 ② 観光地におけるインフラ（道路，案内表示，トイレ等）の整備 ③ 観光施設や体験メニューの数の増加 ④ 観光客のマナーや治安悪化対策（騒音，ゴミのポイ捨て，トイレ利用等） ⑤ 電車・バスや乗用車等，交通の混雑対策 ⑥ 飲食店の混雑対策 ⑦ 宿泊施設の多様化 ⑧ 感染症対策 ⑨ 観光に関する取り組みを行ってほしくない ⑩ その他
本県への愛着度 ※11段階（0～10）	
本県の推奨度 ※11段階（0～10）	

（イ）調査画面の設計

Web 上で表示する調査画面を制作し，HIT と協議の上回答フォームを確定させること。  
 なお，PC 及びスマートフォンにて回答者が設問内容を理解しやすく，正確な回答が得られやすい画面配置及び構造となるよう，調整を行うこと。

ウ 調査の実施

（ア）実施時期

令和5年1月頃

（イ）調査数

有効回答数 1,000 票以上

エ 集計等

得られた回答の1次データ整備及び集計表（調査項目ごとに，回答数，居住地，各回答の数値等をまとめたもの）の作成を行うこと。

（3）観光客向け再来訪意向度等調査

ア 調査対象の設定

調査方法はインターネット調査とし、調査に最適な母集団（パネル）を複数候補の中から選定の上、その理由と共に HIT に提案すること。HIT と協議の上、選定した母集団の特性、令和 2 年本県観光客数の動向（第 2 表）、国が行う生活基礎調査などを参考にして割付等を行い、本県訪問者の性別及び年代、居住地（エリア）、年収が自然分布に近い形となるよう、設計すること。なお、本調査においては、過去 1 年以内に本県への訪問経験がある者を対象とし、必要に応じてスクリーニング調査を行うこと。

## イ 調査項目及び画面の設計

### （ア）調査項目の設計

以下の「設問及び項目詳細・選択肢等」を参考に、日本人・外国人観光地点パラメータ調査と関連付け、総合的に分析できるよう調査項目を調整すること。

設問	項目詳細・選択肢等
性別及び年齢	モニター情報より取得すること。
居住地	モニター情報より取得し、不能な場合は郵便番号を記入させること。
直近の本県訪問時期	選択肢： 1 年以内、2 年以内、5 年以内、5 年より前、訪れたことはない
同伴者	選択肢： 家族（子供連れ）、一人、夫婦・パートナー、恋人（カップル）、友人、その他
訪問目的	選択肢：ビジネス、観光、帰省・知人訪問、その他
満足度	選択肢：11 段階（0～10）
ストレス	ストレスなく観光ができたか調査すること。 選択肢：はい、いいえ いいえの場合：ストレスを感じた場面を選択させること。 ① 交通・移動（案内標識、アクセス、駐車場等） ② 情報取得（情報入手、わかりやすさ、案内所等） ③ 食事（品揃え、営業時間等） ④ 買い物・土産（品揃え、営業時間等） ⑤ 環境（WiFi、トイレ、ロッカー、安全安心対策、多言語対応等） ⑥ 地元の人との交流（観光ボランティア） ⑦ その他
再訪意向 ※11 段階（0～10） 及びその理由を 1 つ 選択	理由の選択肢： ① まだ訪れたことのない本県の他の観光地を訪れたい ② 訪問した観光地を十分に楽しみ尽くせなかったので、再度訪れたい ③ 訪問した観光地が非常に満足できたので再度訪れたい ④ 訪問した観光地が非常に満足できたので家族・知人・友人を連れてきたい ⑤ 訪問した観光地が不満だったから ⑥ 本県の観光地を十分に楽しみ尽くして他に行くところがないから ⑦ 他に訪れたい場所があり優先順位が低いから ⑧ その他
旅行の際の重視点 ※当てはまるものすべて選択、そのうち最も当てはまるもの	過年度に HIT が実施した調査の調査票を参照のうえ、協議の上で選択肢を作成すること。

を1つ選択	
コロナ前の旅行頻度	選択肢：1年間に 1回, 2～5回, 6回以上, 行っていない
広島への訪問経験	選択肢：1回, 2回, 3回, 4回以上, 行っていない
お気に入りの旅行先	47都道府県から1つ選択させること。

(イ) 調査画面の設計

Web 上で表示する調査画面を制作し、HIT と協議の上で回答フォームを確定させること。なお、回答者が設問内容を理解しやすく、正確な回答が得られやすい画面配置及び構造となるよう、調整を行うこと。

ウ 調査の実施

(ア) 実施時期

令和5年1月頃

(イ) 調査数

有効回答数 1,000 票以上

エ 集計等

得られた回答の1次データ整備及び集計表（調査項目ごとに、回答数、居住地、各回答の数値等をまとめたもの）の作成を行うこと。

(4) 調査項目の集計・データ分析

観光地点パラメータ調査及びインターネット調査の各設問に対して属性等とのクロス集計を行い、集計結果をもとに分析の上、調査報告書に取りまとめること。また、HIT が実施している関係者（市町及びDMO等）とのミーティングにおいて、取りまとめた結果の説明会を実施すること。なお、説明会の実施時期については、HIT と協議の上調整すること。

【留意事項】

- ・集計、分析及び調査報告書の項目については、下記を参照の上決定し、HIT の確認を得ること。なお、それぞれの項目について、データ上の前年との増減比較やなぜそういった結果になったのかに関する要因分析等を行い、コメントとともに表やグラフ等を使用しながら取りまとめること。なお、データ分析や要因分析が不十分と認められる場合は、再提出を求めることがある。
- ・日本人パラメータ調査、外国人パラメータ調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の4区分、ならびにそれらの総合的な分析（各調査を関連付けた分析及び今後の改善点等を含む）を盛り込むこと。
- ・観光消費額に関わることについては、国や県市町等が行う観光キャンペーン（GoToキャンペーン等）による割引を勘案した金額（割引前の金額）についても推計すること。
- ・観光地点パラメータ調査部分については、1年分（令和4年1～12月分）について、四半期ごと及び年間の結果を併記しながらとりまとめること。なお、令和5年1～3月分についても併せてとりまとめ、添付すること。ただし、令和4年1～3月分の1次データはHIT から提供する。

ア 日本人・外国人観光地点パラメータ調査報告項目例

分析項目	調査概要
	観光客の属性(居住地, 日帰り／宿泊別, 性別, 年齢)
	観光の形態(同行者, 日帰り／宿泊別, 泊数, 年齢)
	利用交通機関(居住地, 交通機関, 日帰り／宿泊別)



	地域間の移動状況(居住地, 訪問地点, 日帰り/宿泊別)
	旅行費用(居住地, 日帰り/宿泊別, 観光消費額)
	リピート率(観光地点リピート回数, 都道府県リピート回数)
	周遊観光地点数
	観光行動(観光目的, 主な情報源)
	満足度, 推奨度(観光地点及び本県)
	ストレス度, 再訪意向(県外客のみ)
	他地域との比較, 本県の優位性, 強み

イ 県民向け観光振興に関する住民満足度調査報告項目例

分析項目	調査概要
	観光とのかかわり(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	施策認知度・満足度・要望(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	生活環境への影響(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	本県への愛着度(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	本県の推奨度(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)

ウ 観光客向け再来訪意向度等調査報告項目例

分析項目	調査概要
	本県訪問回数・時期(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	観光の形態(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	ストレスの有無, 場面(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	満足度, 再訪意向(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	旅行頻度(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	旅行の際の重視点(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	お気に入りの旅行先(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)

5 成果品の納入

(1) 日本人・外国人観光地点パラメータ調査

ア 1次データ及び統計量の推計分

名 称	説 明	納入媒体	部数	納入期限等
日本人・外国人観光地点パラメータ調査 1次データ ※四半期及び1年分 ※日本人, 外国人で集計を分類すること。	4 (1) エ (ウ), カ	・電子データ	各 1 枚	○四半期ごと ・4～6月分: 7/31 ・7～9月分: 10/31 ・10～12月分: 1/31 ・1～3月分: 3/31 ○1年分 (令和4年1月～12月分の合体版): 1/31
統計量 ※四半期分	4 (1) キ 推計支援ツール一式	・電子データ	各 1 枚	○四半期ごと(計4回) 期限はHITからのデータ提供時に指示する。
県民向け観光振興に関する住民満足度調査 1次データ	4 (2) エ	・電子データ	各 1 枚	令和5年2月10日

観光客向け再来訪意向度等調査 1次データ	4 (3) エ	・電子データ	各 1 枚	令和 5 年 2 月 10 日
----------------------	---------	--------	-------	-----------------

※1次データについてはクリーニングを行い，分析に活用できる形で納品すること。

#### イ 項目の集計・データ分析分

名 称	説 明	納入媒体	部数	納入期限等
観光地点パラメータ調査集計表 (調査項目ごとに，回答数，日程，居住地，調査地点の各回答数値等をまとめたもの) ※四半期分及び1年分 ※日本人，外国人で集計を分類すること。	4 (1) カ	・電子データ	各 1 枚	○四半期ごと ・4～6月分：7/31 ・7～9月分：10/30 ・10～12月分：1/31 ・1～3月分：3/31 ○1年分 (令和4年1～12月分)：3/31
県民向け観光振興に関する住民満足度調査集計表	4 (2) エ	・電子データ	各 1 枚	令和 5 年 2 月 10 日
観光客向け再来訪意向度等調査集計表	4 (3) エ	・電子データ	各 1 枚	令和 5 年 2 月 10 日
調査報告書	4 (4)	・電子データ	各 1 枚	令和 5 年 3 月 31 日

※納入期限が閉庁日の場合は翌開庁日とする。

#### 6 成果品の納入場所

HIT 執務室

#### 7 成果品の帰属

本業務で得た全ての成果品については，HIT に帰属する。

#### 8 業務実施上の条件

- (1) 受注者は，契約締結後速やかに本業務の担当窓口及び担当者，責任者等の業務実施体制を明記した資料，並びに実施スケジュールを作成し，HIT の承認を得ること。なお，担当窓口及び担当者，責任者のうち1名以上，統計全般における専門的知識や，調査分析に係る業務経験を有する者を配置すること。
- (2) 業務実施にあたっては，HIT と協議の上で行うこととし，作業の進捗状況について月に1回以上協議の場を設け，報告を行うこと。
- (3) 感染症拡大に伴う移動自粛要請発令等の影響で，日本人・外国人観光地点パラメータ調査について中止せざるを得ない場合，調査方法をインターネットに切り替えて実施する可能性がある。この場合，HIT と協議の上対応すること。
- (3) 本県における過去の事業，他県及び他市町の同様の調査事例を本調査にも活かし，過去の調査分から連続したデータ蓄積及び分析となるよう調整の上，業務を遂行すること。
- (4) HIT は，調査の実施状況を把握又は検査するため，業務の実施状況に関して報告又は立入検査を求めることができる。
- (5) HIT は，業務の実施にあたり，受託者が必要とする資料や情報等の提供を行う。

- (6) 受託者は、委託業務上発生した事案や事故については、大小にかかわらず HIT に報告し指示を仰ぐとともに、早急に対応を行うものとする。
- (7) 本業務の業務委託契約書には、委託料の内訳（日本人観光地点パラメータ調査、外国人観光地点パラメータ調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の4項目）を明記するものとし、日本人観光地点パラメータ調査及び外国人観光地点パラメータ調査については、四半期ごとの内訳も併せて記載することとする。
- (8) 受注者は、本業務の全部を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
- (9) 受注者が本業務の一部を再委託する場合、事前に発注者に対して書面にて、再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、その他再委託先に対する管理方法等必要事項を提示し、承認を得ること。また、再委託範囲は、受注者が責任を果たせる範囲とし、再委託先に問題が生じた場合は、受注者の責任において解決すること。
- (10) 成果品等の引き渡し後、1年の間に、納品物等に瑕疵がある場合は、発注者と協議の上、修正等必要な措置を受注者の負担により講ずること。
- (11) 受注者は、本業務の目的や意図を十分に理解した上で、誠意をもって業務を遂行すること。
- (12) 受注者は、関係法令を遵守し業務に当たること。
- (13) 本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じた場合は、発注者及び受注者が協議の上、定めるものとする。